

広報おんな

ONNA

青と緑の豊かな活力ある村

恩納村 総務課 TEL098 (966) -1200

平成16年
8月号
(No.278)



海人たちの祭り「前兼久ハーリー」

村のひと 平成16年6月

男 5,165人 (+17)
女 4,938人 (+9)
計 10,103人 (+26)
世帯数 3,842世帯 (+18)

- ◆ 楽しい夏休みを迎えよう！水難事故防止訓練
- ◆ 亀さん、また帰ってきてね
- ◆ ちえこのカンボジア日記 vol.3
- ◆ むらの話題：稲刈りに挑戦！ 他



*** 新情報満載！恩納村ホームページ *** <http://www.vill.onna.okinawa.jp>

老人医療のお知らせ

～ 現在入院中の老人医療受給者の方へ～

老人医療受給者(昭和7年9月30日以前に生まれた方、障害認定を受けた65歳以上の方)

入院時における一部負担金限度額適用と、標準負担額(食事代)減額認定証の切替えは8月となっております。現在入院中であり、申請が必要の方は8月中に手続きをしていただきますようお願いいたします。また、9月以降に入院をされる方につきましても、入院月内での申請をお勧めいたします。

※減額の対象となる方・・・住民税非課税世帯の方



申請をすると1ヶ月の支払いが、以下のようになります。

区分	支払限度額	食事代(1日)
申請をしない場合	40,200円	780円
低所得 2	24,600円	650円 (91日目以降500円)
低所得 1	15,000円	300円

※低所得とは、住民税非課税世帯のこと。

低所得Ⅰ 受給者一人(収入65万円以下)、受給者2人(収入130万円以下)

低所得Ⅱ 受給者一人(収入267万円以下)

申請場所：恩納村役場健康増進課 国保係

お問い合わせ先：恩納村役場健康増進課 老人医療担当 電話：966-1205



第十四回「琉歌大賞」の公募について

あなたも八・八・八の琉歌(琉球短歌)に挑戦してみませんか

■応募資格/どなたでも応募できます。

一般の部・児童生徒の部(中学三年生以下)

■応募締切/平成十六年九月十日(金)当日消印有効

■形式/八・八・八の音の琉歌とします。

但し、児童生徒の部は方言にこだわられません。

八音句は三音と五音もしくは五音と三音の組み合わせとし、六音句は三音と三音の組み合わせとします。

■テーマ/「命」

■応募方法/一人三首以内とし、恩納村商工会または恩納村役場に設置してある応募用紙かハガキにて一通につき一作品を記入する。

□記入方法

住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号・職業・学校名・学年を記入

▽応募用紙(表)

作品のみ記入

▽応募用紙(裏)

あて先 郵便番号 九〇四一〇四二一
恩納村字恩納四一九一三 恩納村商工会内

▽はがき(表)

第十四回「琉歌大賞」琉歌公募係行
住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号・職業・学校名・学年を記入
作品のみ記入

▽はがき(裏)

■その他/作品は未発表のものに限ります。

応募作品は返却いたしません。応募作品は、主催者側において自由に使用できるものとします。

選考に関するお問い合わせには応じかねます。

お問い合わせ 恩納村商工会

TEL(〇九八)九六六-八二五八

FAX(〇九八)九六六-二四三五



▲みんながんばれ～!! 前兼久婦人会応援団のみなさん

海人たちの祭り

前兼久ハーリー



▲青のユニフォームの恩納村商工会チームと白のユニフォームの恩納村役場チーム。さあ、勝つのはどっちだ!!



▲ゴール目指してがんばるぞ! 中学生体験ハーリー

恩納村漁業協同組合が所在する恩納村前兼久では、毎年旧暦5月4日(ユッカヌヒー)に海人たちの祭り「前兼久ハーリー」が開催されます。

今年のハーリーはユッカヌヒーにあたる6月21日が台風の影響で延期となり、6月23日の慰霊の日で開催されました。村内外からのハーリー愛好家が出場する職域レースや地元中学生の体験ハーリー、小学生の果物取り競争、リゾート地ならではのジェットスキーショーなど盛りだくさんの内容でした。

会場は大勢の見物客で賑わい、この日の前兼久は熱気とお祭りムードに包まれました。来賓・関係者には前兼久成人会によるイカ墨汁が振る舞われ好評でした。職域レースでは地元前兼久青年会が他のチームに力の差を見せ付け、見事に優勝しました。前兼久ハーリーの鐘とともに沖縄地方は梅雨明けし、本格的な夏が到来しました。



▲イエ～イ! みんなの応援にきたよ!



▲俺たちが一番だぜ! 恩納村漁協のみなさん



▲やった!こんなにたくさんの果物をとったよ! 小学生果物とり競争



▲1、2、1、2! リズムを合わせて漕ぎました! 前兼久婦人会のみなさん



▲僕もハーリー大好き!



▲区長会、商工会、役場に対戦し、勝利した区長会チームのみなさん

楽しい夏休みを迎えよう！水難事故防止訓練 仲泊小学校

恩納村立仲泊小学校（吉本勝校長）からの要望で、同校において7月14日、2校時から4校時にかけて水難事故防止訓練が行われました。訓練では緊急時を想定して着衣を身に着けたままプールに入り、水の中の動きにくさを体験しました。生徒たちは安全のため後ろ向きでプールサイドから入水することの指導や着衣状態で水に慣れるためのゴルフボール拾い、ペットボトルを浮き輪がわりに仰向けに浮かぶ練習をしました。また、靴には浮遊力があるので、おぼれそうになったときには靴を脱ごうとせずに、靴の浮遊力を利用して浮くよう指導がありました。

訓練の指導には金武地区消防職員の他県内消防署員合計31人があたり、仲泊小学校1年生から6年生の合計183人が夏休目を目前に水難事故防止訓練を体験しました。



▲ 着衣したままの状態水中のゴルフボールを拾う子どもたち



▲ ペットボトルを抱いて深く練習をする子どもたち

固定資産評価委員へ 委嘱状交付

7月1日、恩納村役場において固定資産評価委員2名へ志喜屋文康村長より委嘱状が交付されました。固定資産評価委員には、引き続き當山邦夫氏（安富祖）と伊藝紀夫氏（恩納）が平成18年6月30日まで務めることとなりました。

村の固定資産評価委員には、お二人の他に宮平繁氏（塩屋）が平成17年6月30日までの任期中で委員を務められます。



▲ 役場応接室で委嘱状交付を受けた當山邦夫氏(左から2人目)

我らの喜瀬武原青年会 ふるさとエイサー祭りに出場！



▲ 力強い演舞で観客を魅了した喜瀬武原青年会のみなさん

喜瀬武原青年会（外間智会長）ら55名は、7月4日、北谷町陸上競技場で開催された第40回青年ふるさとエイサー祭り（沖縄県青年団協議会主催）に参加しました。大会当日、喜瀬武原老人会の皆さんはバスを貸切り応援に駆けつけ青年たちを盛り上げました。

喜瀬武原青年会は、8月22日に開催される恩納村青年エイサー祭りにも出場予定です。

※恩納村青年エイサー祭り

日時 平成16年8月22日（日）

午後6時開演

場所 恩納村漁民広場

入場無料

石川警察署からののお知らせ

～自転車の防犯登録について～

夏場（夏休み）になると毎年、自転車の盗難事件が多発傾向にあります。盗難後、別の場所で放置され、発見される場合があります。

その際、警察署で一時保管しますが、見つかった自転車に防犯登録等がなされていない場合、持ち主が確認できず、返還できないことがありますので、まだ防犯登録を済ませていない自転車をお持ちの方は石川地区防犯協会にお早めに登録を済ませて下さい。

登録手続きは…

石川地区防犯協会（石川警察署内）
964-4710に確認して手数料（400円）、登録される自転車と保証書、登録者の身元証明書（免許証等）を持参してください。

～自動販売機荒らし・空き巣が横行～

1 自動販売機荒らし

6月に入ってから、清涼飲料水などの自動販売機荒らしが横行しています。恩納村では、真栄田、伊武部、前兼久、瀬良垣（4件）で発生しており、その盗みの方法は、
◎販売機の料金箱に近い正面パネル部分をバールで壊し、金銭を盗む。
◎人家から離れた場所、また店先等に設置された販売機でも大雨や台風の深夜、通行人が少なく、大きな音を出しても気づかれそうにない日時に発生しています。

2 空き巣

空き巣についても、安富祖、瀬良垣、山田、宇加地で発生しています。盗みの方法として、
◎表通りから見えない、家の裏側の窓ガラスを割って、カギ（クレセント錠）をはずして家に侵入し、金品を盗むなど、悪質です。
※パトロールも行っていますが、集落内に「見慣れない人や車が入ってきて、うろついている」など、不審な場合は車両ナンバーのメモをして警察に通報してください。

みんなの目で、犯罪を撲滅しましょう。

石川高校ダンス同好会 ～派遣費造成アピールのため後場訪問～

石川高校ダンス同好会は、沖縄県学校ダンスフェスティバルにおいて優秀賞を受賞し、8月に開催する全日本大学・高校ダンスフェスティバル神戸大会に出場が決定しました。

ダンス同好会は、派遣費造成アピールのため7月12日、恩納村役場を訪問し、エイサーや空手などを取り入れたダイナミックなダンスを披露しました。恩納中出身の當山美咲さん、當山夕里香さん、山城純乃さん、山田中出身の比嘉亜里沙さんを含む12人が全国大会へ出場します。



▲ 全国大会でもがんばります！石川高校ダンス同好会のみなさん

交通安全旗市町村リレー 宜野座～恩納村～石川市

交通事故防止のためには、交通社会に参加する県民一人ひとりが交通ルールと交通マナーを守り、ゆとりと譲り合いの心で行動することが何よりも大切です。

この交通安全旗市町村リレーは毎年、住民の交通安全思想の高揚と交通安全意識の涵養を図る目的で実施されています。



▲ 宜野座村長(左)から交通安全旗を引き継ぐ池宮城秀光収入役



▲ 當山稔助役(右)から石川市長へ



▲伊波智恵子さん(左から2人目)とマラリアセンタースタッフのみなさん=飛行場にて

恩納村のみなさん、チコウリアップスオ！(クメール語で「こんにちは」)5月から3回地方へ出張に出かける機会がありました。その中から今回6月にラッタナキリ州で行われたマラリア予防対策のビデオ作成の状況について紹介します。

ラッタナキリ州はベトナムの国境に面した所にあり、空路で約1時間、陸路約12時間です。カンボジアの北西に位置し、そのまま西へ60キロ突き進めればベトナムに国ができます。森林に囲まれ山々となっており現地の人の心は涼しいところだそうです。(私はそれでもまだ暑く感じました)中心地区から少し山奥に入ると少数民族が住んでいる村があります。8カ所あるという村はそれぞれ

の民族が違う言葉を使っているクメール語(カンボジアの公用語)が通じないとのことで、同じ国民同士でも通訳が入り用でした。今回はその3カ所を訪ねました。

その少数民族はマラリアの媒介が蚊というのを知らず蚊に刺されると古くから伝わっている慣習で治そうとあるそうです。当マラリアセンターはマラリアの知識啓蒙と蚊帳の使用の普及啓蒙を目的に、WHOと協力しながらビデオ制作の企画を行いました。マラリアセンターから9人、テレビ局5人、その他現地俳優、協力者いれて総勢30人余を約30日にわたり撮影が行われました。村人の朝から夕方までわたっての活動を生で撮るため早朝6時集合夜10時解散とかなりハードスケジュールでしたが、スタッフは結構観光気分

で村人と一緒に記念撮影をしたいと楽しみながら長時間を乗り切っていました。村の状況は家が高台式になっていて、ブタや鶏、犬が周囲を庭みたい歩き回っています。水は地下水をくみ上げてそれを利用してありますが、家の水道があるわけでもなくそこで洗濯したい、シャワーしたい共同で使っていました。時々裸の赤ん坊や上半身裸の女性がいますがそれでも衣類を着るようになっただけ進歩してきているとのことでした。また別の集落では水の出る谷川まででかけてそこで洗濯、シャワーをし、水筒(スイカの種類)を担いで家まで水を運んでいました。衛生面では気がないですが、寄生虫の子が何人かいた(お腹が大きく膨らんでいるのでよくわかる)下痢などありますが病気になることもお金がないのでどうしようもないそうです。内戦が続いたおかげで政府も地方までは手が届かず、まだまだ遅れているとスタッフももらしていました。

マラリア予防対策はこういう地方が対象なので、今後も出かけていく機会が多くなりそうです。地方へ出かけて大変なことは暑さと、食事とトイレです。村へ出かけていってトイレのないところまで水を我慢していました。(草むらであるとブタがよってきそうなくらいあちらこちらにいましたので)これは時男性はいいですね。それと食事のハエがつかまとうのは当たり前です。それを気にしていたらご飯にありつけなくなります。(ついでにお腹もこわしたいしますが・・・私は今のところ1回だけです)

今回は首都プノンペンから一歩郊外へでたカンボジア人でも簡単に立ち入りできない(いろんなしきたりがあるので)部落へ行くことができました。うちの母に話したら戦後の沖縄を思い出したようです。これからの課題の多い国というのが実感でした。

「チコウのカンボジア日記」では、恩納村保健師の伊波智恵子さんに今後2年間のカンボジアでのシニア海外ボランティア体験をご紹介します。どうぞ次回をお楽しみに！



▲谷川でスイカの種類でできた水筒に水を汲む村人



▲マラリア知識の啓蒙普及活動ビデオ作成のため村人の生活を撮影するスタッフ

亀さん、また帰ってきてね！
海亀放流・仲泊小学校



▶子亀が海へ向かって泳ぐのを見守る子どもたち

海亀の産卵が行われている恩納村仲泊海岸では、今年も11の産卵箇所が見つかりました。仲泊区の古波蔵勇さん、山内輝信さんのお2人は沖縄県から許可を得て3年ほど前から海亀の保護に携わっています。

卵が確認されたそうです。7月15日には仲泊小学校1年生34人が元気に孵った69匹の子亀の放流をしました。小さな子亀を手に子どもたちはとても嬉しそうでした。仲泊小学校では、海亀の産卵が地元で行われるとあり、地元のことを知るきっかけとして、また子亀をとおして命の大切さや生き物に触れる機会を作っています。放流の他にも4、5、6年生は、また海亀がきれいな砂浜へ戻って来るようにと、海岸のごみ拾いも行っています。



▶元気よく海へ帰る亀を指差す子どもたち



▲小さくてかわいい！子亀を手に乗せる子どもたち



▲亀さんががんばれ！海に向かって歩く子亀に声援を送る子どもたち

体を動かすと
気持ちいいね！

ここに元気アップクラブ

7月15日、恩納村総合保健福祉センターにおいて、健康教室「ここに元気アップクラブ」が開催されました。このクラブは2ヶ月に1回開催し、今回で2回目となります。クラブの対象者は、過去2年間健康教室に参加した60人の方たちで今回は34人参加がありました。この日の健康教室のテーマは「ウォーキング」。まずは室内でウォーキングの意義と効果を振り返り、ストレッチにウォーキングアップ運動をしました。その後、総合保健福祉センター周辺を約15分実践ウォーキングしました。参加者は楽しそうに体を動かし、さわやかな汗を流していました。



▲和やかな雰囲気ウォーキングについて話を聴く参加者のみなさん



▲はい、思いっきり伸ばして～！ウォーキング前にストレッチする参加者のみなさん

稲刈りに挑戦！恩納村ごども会

恩納村各字子ども会のリーダーを対象に、7月3日、恩納村安富祖において、村教育委員会・村子ども会育成連絡協議会主催で稲刈りが行われました。この稲刈りは一泊二日のリーダー宿泊研修日程の一部として行われ、毎年地元の方の水田の一面を提供していただいております。

村教育委員会の町田宗秀主任が稲刈りの指導にあたり、3月に植えた黄金色の稲を75人の子どもたちが1時間かけて刈り取っています。



▲強い日差しの下、稲を刈る子どもたち

り、約200kg収穫しました。収穫した米は8月のサバイバルキャンプでみんなで食されます。子どもたちは強い日差しの下、真新しいカマを手になかなか切れない。「難しい」と盛んに首をひねりながら奮闘していました。作業の後は、ジュニアリーダーの愛情たっぷりの手作りおにぎりが参加者全員に配られました。おいしそうにほおばっていました。



▲刈り取った稲を運ぶ子どもたち

37団体の協力で成功恩納村内
中学二年生職場体験学習

職場体験をとおして個々の生徒がしっかりと職業観・勤労観を身につけ、将来の進路選択に役立てることを目的とした職場体験学習が6月28日から7月2日までの5日間実施されました。生徒たちは村内外の幼稚園、保育所、消防、リゾートホテル、漁協組合、動物病院、本屋などの37団体の協力で職場体験を行いました。その中の恩納村漁協組



▲海ぶどうの出荷作業をする生徒たち=恩納村漁業協同組合

合では海ぶどうの出荷、モズクの選別、活魚の出荷、オニヒトデ駆除の調査などを山田中学校の比嘉一馬君ら15人の生徒が体験しました。4日目のプログラムの沖釣りを体験した生徒からは「とても楽しかった。学校に戻りたくない」といった感想があり、関係者を喜ばせていました。西銘宜寿教育長は「村内外の37事業所等が受入れを快諾していただき感謝している。今後も人材育成へご協力をお願いしたい」と感謝を述べました。



おばあちゃんと豆腐作りに挑戦！
— 恩納幼稚園 —

地域の高齢者とふれ合い、豆腐づくりの喜びを味わうことを目的として、7月1日恩納幼稚園（仲里栄三園長）で、園児36名と南恩納老人会・婦人会18名が昔ながらの石臼を使っての豆腐づくりを楽しみました。

重い石臼をがんばってまわす園児たちの様子を見て、参加者は可愛い園児たちを激励しました。全園児が約1時間かけて交替で石臼をまわしました。豆腐ができあがるまで園児たちの歌や踊りを



▲石臼を順番に回す子どもたち=恩納幼稚園

楽しみ、おばあさんたちからは、昔のくらしの話や紙芝居の読み聞かせのお返しがありました。出来上がった「ゆし豆腐」に園児たちは歓声をあげ、あつあつのゆし豆腐に舌鼓を打ちました。



『慰霊の日』に向けて
山田校で読み聞かせ会

沖縄戦で多くの尊い命が失われ、二度と戦争を起こしてはならないとの強い思いから慰霊の日を前に、6月19日、恩納村立山田小中学校（大城貢校長）で同校PTA文化部「ルッコラの会」による読み聞かせ会が行われました。会員11名が分担して「ベトちゃん、ドクちゃん」などの手作り紙芝居や平和について考えさせられる絵本の読み聞かせを行いました。参加した70名の児童・生徒、父母らは真剣に耳を傾けていました。

4月に赴任したばかりの大城貢校長は「6月は平和学習に取り組んでいる。ボランティアによる地域の取り組みは素晴らしい。継続する事により、平和を希求する心が育つだろう」と感じしていました。また、こども達



▲山田校PTA文化部「ルッコラの会」による戦争の悲しさを伝える手作り紙芝居

からは「戦争はいやだ」「戦争は怖い」「平和が欲しい」と口々に素直な感想がありました。

9月9日『救急の日』講演会のご案内

テーマ:『救命の鎖』命の尊さと救急医療の重要性をわかりやすくお話しします

講師: 身体障害者養護施設・松原クリニック院長 真喜屋實祐氏(元県立南部病院院長)

日時: 平成16年9月9日(木) 14:00~16:00

場所: 金武町立中央公民館

受講対象: 金武町・恩納村・宜野座村を中心とする住民全般及び関係者(民生委員・ホームヘルパー・各事業所救急指導員等)

入場料: 無料

お問い合わせ: 金武地区消防本部 警防課 TEL 968-2020



平成17年度派遣沖縄県海外留学生(国費)の募集について

募集人員 修士課程・博士課程を合わせて3人程度

応募資格 日本国籍を有するもので沖縄県内に本籍または住所を有し、平成16年4月1日現在で、引き続き一年以上沖縄県に居住している者またはその子弟で、年齢は40歳以下

募集期間 8月13日(金)まで
一次試験(筆記) 8月21日(土)
二次試験(面接) 9月下旬

お問い合わせ 沖縄県国際交流・人材育成財団 人材育成課 留学係
☎ 098-941-6744

※募集要項及び申請類等の様式は、財団ホームページからダウンロードしてください。

URL <http://www.oihf.or.jp>

「アルコール依存症」家族教室のご案内

- 第1週:9月10日(金曜日)
アルコール依存症とはどんな病気
- 第2週:9月17日(金曜日)
当事者家族の体験を聞こう お互いの悩みを語る
- 第3週:9月24日(金曜日)
家族の対応の仕方について
- 第4週:10月1日(金曜日)
相談の場や医療機関について



時間: 午後2時~4時
場所: 中部福祉保健所 3階ホール

【申込み先】資料等の準備が有りますので下記へ電話かFAXで連絡ください。

【申込み期間】9月3日まで(土曜日、日曜日、祝日は休み)

【申込み先】中部福祉保健所 精神保健福祉班
電話 938-9700
FAX 938-9779
担当者 新城(あらしろ)、金城

沖縄県立美咲養護学校 体験学習・教育相談参加者募集

期 日 平成16年9月13日(月)・14日(火)・15日(水)
午前9:00~11:30(上記のうち、いずれか1日)

場 所 美咲養護学校小学部(1階)

対 象 ・来学年度1年就学児(小学部対象児)
・保護者、担任、関係職員
(学校見学、教育相談)

受付期間 平成16年9月1日(水)~6日(月)

※参加ご希望の方は、下記までご連絡下さい。



<連絡先>
沖縄県立美咲養護学校
〒904-2153 沖縄市美里4-18-1
TEL.938-1037 FAX.938-7700
担当:幸地かおり

※尚、教育相談(小学部)を希望される方は、お気軽に本校へご連絡下さい。

善意ありがとうございました! 恩納村社会福祉協議会への寄付

一般寄付

- ①(資)平安名組 400,000円
- ②有限会社 良政産業 代表取締役 比嘉良政 200,000円

香典返し

- ① 仲松 紀代 200,000円
- ② 仲嶺 よし子 200,000円
- ③ 長浜 民子 100,000円
- ④ 石川 哲夫 100,000円



行政書士無料相談会の開催について

沖縄県行政書士協会では広く県民に行政書士制度をアピールし、「身近な街の法律家」として活用していただく目的で下記のとおり行政書士無料相談会を実施しております。どうぞ、ご相談ください。

場 所 沖縄県行政書士会館 浦添市伊祖4-6-2
TEL 098-870-1488
FAX 098-876-8411

開催日程 毎月第2月曜または第3月曜日
午前9時~午後5時

- 主な相談内容
- ①各種営業許可、登録を受けたいとき
 - ②建設業の強化
 - ③農地転用手続・開発行為許可申請書
 - ④相続遺言等に関する事項
 - ⑤法人を設立したいとき
 - ⑥自動車の登録・一般貨物運送許可申請
 - ⑦交通事故のご相談
 - ⑧産業廃棄物処理
 - ⑨契約書、示談書等の作成
 - ⑩その他、官公署への提出書類について
- ※相談内容は秘密厳守いたします。

第2回 恩納村合同相談のお知らせ

平成16年度、第2回合同相談が下記の日程により開催されます。受付は、総務課にて事前に電話受付します(当日受付も可能です)。

日 時: 平成16年8月12日(木)
午前の部: 午前10時~12時まで
午後の部: 午後1時~3時まで

相談会場: 恩納村コミュニティーセンター

相談内容: 法律・人権・行政の各種相談です

お問い合わせ: 恩納村役場 総務課 行政係
TEL 966-1200

交通事故北部巡回相談の実施について

沖縄県では、北部地域における交通事故被害者対策の一環として、下記のとおり巡回相談を行っています。どうぞ、ご相談ください。

記

巡回相談実施日: 毎月第三水曜日(祝祭日を除く)

相談時間: 10:00~15:00

場 所: 北部合同庁舎(名護市大南1-13-11)

派遣相談員: 沖縄県交通事故相談員1名を派遣

青い羽根募金について



この募金は、海洋レジャーの事故や荒天で船が遭難した場合の人命救助と事故防止事業の資金として活用されます。

期間: 平成16年8月31日まで

＝お問い合わせ先＝ 振込先＝
(社)琉球水難救助会 □座番号 1526329
那覇市泊3-1-6 沖縄銀行高橋支店
泊港北岸3階
TEL 098-868-5940 社団法人 琉球水難救助会